

健康



お知らせひろば



検診と相談

詳しくは、広報4月号 挟込みの「保健だより」をご覧ください。
 検診は、いずれも要
 申込(定員になり次第
 締切)。インターネット
 でも予約可。

◆胃・肺・大腸がん・結核
 検査
 日時 8月23日(金)、9月3日(火)、10月11日(金) いずれも午前

◆子宮がん検診
 日時 10月1日(火)午後

◆乳・子宮がん検診
 日時 8月19日(月)、9月4日(水)・20日(金)、10月9日(水) いずれも午後

※9月4日のみ午前も実施
 ◆骨粗しょう症検診
 日時 10月9日(水)午後

◆健康相談
 日時 8月23日(金)午前9時30分～11時

内容 血圧・体重・体脂肪率・体内年齢・尿検査などの測定ができます。禁煙相談・栄養相談は申込が必要です。

申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

第32回市民健康まつり
 図画・ポスター
 標語・川柳募集

9月29日(日)開催の市

国保・年金

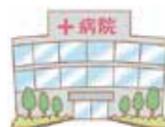


ご存知ですか？ 国民年金基金

国民年金基金は、国民年金に上積みする公的な制度です。国民年金の第1号被保険者(自営業者など)で保険料を納めている20歳以上60歳未満の者が加入できます。また、60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入しているかたや、海外に居住されているかたも加入できます。受取る年金額は加入時に確定するので、将来の生活設計をたてることできます。

高額療養費

◆限度額適用認定証、限度額適用・標準負担額減額認定証
 医療機関の窓口で提示すると、同月内の各医療機関での窓口負担は自己負担限度額までとなります。申請が必要で、70歳以上の住民税課税世帯で2割負担のかたは、3割負担で課税所得690万円以上のかたは、限度額適用認定証は不要です。



◆掛金と税制面の優遇措置
 掛金は希望する年金の型・口数・年齢・性別で決まり、加入後も変更できます。年末調整や確定申告の際、社会保険料として全額が所得から控除

国民健康保険証・世帯主と申請者の印鑑▽更新時
 有

効期限(7月末)の過ぎた限度額適用認定証など、世帯主と申請者の印鑑
 申請・問合せ先 国保年金課 ☎072-433-7273

はり・きゅう・あん摩・マッサージ療養費受領委任開始

9月施術からはり・きゅう、あん摩・マッサージ療養費が変わります。現在は窓口で一部負担金(2割3割)を支払い、療養費(8割7割)は世帯主から委任を受けた施術者が療養費の請求などを行っています。今後は登録された施術所のみ窓口で一部負担金(2割3割)の支払いができます。

◆保険適用の施術を受ける時
 ①必ず領収書を受け取りましょう。②支給申請書に押印する場合は、施術の記載内容を確認しましょう。

◆産前産後期間免除制度
 出産予定日または出産日(※)が属する月の前月から4カ月間(多胎妊娠の場合は3カ月前から6カ月間)の国民年金保険料が免除されます。※妊娠85日(4カ月)以上の出産。死産・流産・早産・人工妊娠中絶も含まれます。
 対象 国民年金第1号被保険者で出産日が今年2月1日以降のかた
 持物 年金手帳・印鑑・母子健康手帳
 申請・問合せ先 国保年金課 ☎072-433-7274

石綿ばく露者の検診

健康管理に係る試行調査のための検診です。詳しくはホームページをご覧ください。対象 次①～④全てに当てはまるかた
 ①貝塚市に住民登録がある
 ②平成2年以前に泉南地域に居住していた
 ③指定医療機関で検査を受けることができる
 ④試行調査の内容を理解し、調査への協力に同意できる
 内容 問診・胸部CT・保健指導
 費用 無料
 申込 8月7日(水)～21日

健康乗馬教室で介護予防 参加者募集

日時 9月1日(日)～12月27日(金)で申込時調整
 対象 市内在住の60歳以上で、乗馬による腰痛・膝痛などのおそれのないかた
 定員 40人(定員になり次第締切)
 費用 無料
 申込期間 9月2日(月)～10月31日(木)
 申込 最寄の保健所
 問合せ先 府地域保健課 ☎06-6944-9172

被爆二世健康診断

対象 府在住の被爆二世で受診を希望するかた
 日時・場所 申込後、本人へ通知
 費用 無料
 申込期間 9月2日(月)～10月31日(木)
 申込 最寄の保健所
 問合せ先 府地域保健課 ☎06-6944-9172

ピロリ菌の話

問合せ先 医師会 ☎072-423-4130

胃粘膜は胃酸に覆われているため細菌はいないと考えられていましたが、胃の中でも存在できるヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)という細菌がいることがわかりました。

ピロリ菌の感染経路は不明ですが、飲食物を介して口から菌が入ってしまうことで感染するのではないかと考えられています。免疫機能が十分ではない幼児期に感染する可能性が高く、成人が新たに感染する可能性は低いようです。

日本人の場合、年長のかたほど感染率が高いです。これは、水道水などのインフラが整っていない時期に幼少期を過ごしたため、井戸水などから感染したのではないかとされています。実際、衛生環境が整った頃に生まれた若い人たちは、感染率が低いです。

感染しているだけでは無症状ですが、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎、胃がんのかたは感染していることが多く、ピロリ菌がこれらの病気の発生に関わっていると考えられています。したがって、除菌すると、これらの病気を予防したり、再発しにくくなります。

現在では、感染しているかどうかを高い精度で診断する検査方法が普及しています。もし感染していることが分かったら、積極的に除菌することが推奨されています。ただし、胃がんの発症リスクは低下しても、消失することはないため、除菌治療のあとも、内視鏡による定期検査を行っていくことが大切です。

ピロリ菌が気になる方は、一度医療機関を受診されてはいかがでしょうか。



9月1日(日)から 休日急患診療所 歯科の診療時間が変更になります

診療科目	応急歯科	障害者歯科 (要予約)
変更前	午前10時～正午 午後1時～4時	午後2時～4時
変更後	午前10時～正午	

◆内科の診療時間は変更ありません
 ◆内科・応急歯科・障害者歯科とも、開設日は変更ありません

問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000